



■ 世界最大級のソーラーカーレースWSCで優勝



東海大学チャレンジセンターのライトパワープロジェクトが10月20日、オーストラリアで開催されている世界最大規模のソーラーカーレース「ワールド・ソーラー・チャレンジ(WSC)」で、有力チームを抑えて大会2連覇を飾りました。

東海大学のマシン「Tokai Challenger」は15日に行われた公式予選の結果により、5番目の順位でスタート。初日からトップに飛び出して、5日間に渡る後続チームとのトップ争いを制し、本戦5日目の20日午後1時過ぎ(現地時間)にアデレード市内のフィニッシュ地点に到達しました。

この大会は10月16日から23日の日程で、オーストラリアのダーウィンからアデレードまで、大陸を北から南へ縦断する約3000kmで走行時間を競う大会です。1987年から開催されていた由緒あるレースで、今大会は強豪のオランダのデルフト工科大学やアメリカのミシガン大学、マサチューセッツ工科大学など世界中から37チームが参戦しています。



ワールド・ソーラー・チャレンジ二連覇達成にあたって

オーストラリアで2011年10月16日(日)から開催されていた、世界最大級のソーラーカーレース「ワールド・ソーラー・チャレンジ」において、一昨年の前回大会に引き続き二連覇を達成できましたことを皆さまにご報告できることは、東海大学として大変大きな喜びであります。

前回大会から大会ルールが変更となり、これまで使用していた宇宙用太陽パネルが使用できないことに伴い、これまでの優位性を失うことへの危惧を覚えました。多数の企業様のご協力のもと、これまで以上に本学の持つ教育研究成果を車体製作に活かし、

また、ドライバーや運営などの人的な部分で層の厚みを十分に発揮することができ、一昨年の優勝に引き続いての優勝を達成することができました。

パナソニック株式会社様からは高性能HIT太陽電池パネル、東レ株式会社様からは車体の素材をご提供いただき、モノづくり日本を代表する企業のご協力での偉業を達成できたことは、また大きな喜びの一つであります。とくに主要出場チームでは、唯一の国産太陽電池パネルを搭載していることも、誇れるものであります。

出場したチームからはあらためてご報告申しあげる機会を設けることといたしますので、今後とも本学の教育研究活動に対しまして、格別のご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

2011年10月20日

東海大学学長
高野 二郎

[◀ 前の記事へ](#) [記事一覧へ](#) [次の記事へ ▶](#)

Copyright © Tokai University. All rights reserved.